

【共同ニュースリリース】



NPO 法人キャンサーネットジャパン × 株式会社ファントム・フィルム

2011年12月9日

報道関係各社 / 医療関係各社 各位

12月17日（土）公開「私だけのハッピー・エンディング」
の興業収入の一部をがん患者支援 NPO に寄付 !!

謹 啓

株式会社ファントム・フィルム（東京都渋谷区：代表取締役社長 小西 啓介）は、がん患者・家族へのがん医療情報の発信・がん疾患啓発を行う NPO 法人キャンサーネットジャパン（東京都文京区：理事長 岩瀬 哲）に対し、12月17日（土）全国ロードショーとなる映画「私だけのハッピー・エンディング」の興業収入の一部を寄付する事で合意しました。

映画「私だけのハッピー・エンディング」は、主人公マーリーが余命半年と宣告されてから、自分自身や大切な人たちについて見つめなおして成長していく感動作で、ケイト・ハドソン演じる 30 歳のキャリア・ウーマンが「がん」という病を通じて見つけた「私らしい人生」を考える感涙のストーリー。

株式会社ファントム・フィルムと NPO 法人キャンサーネットジャパンは、東京・大阪、また聖路加国際病院にて試写会を共催し、「キャンサーギフト」=（“がん” がくれた贈り物）という考え方や、正しい大腸がん疾患啓発の推進のため、今回、興業収入に応じ、その一部を寄付し、NPO 法人キャンサーネットジャパンでは、これらの寄付を、2011 年より推進する大腸がん疾患啓発「ブルーリボンキャンペーン」の啓発グッズ（疾患啓発トイレットペーパーなど）の制作に充てることにします。今回の寄付金及び、使用用途については NPO 法人キャンサーネットジャパンのホームページ(<http://www.cancernet.jp/>)にて公開します。



これまで、日本において、今回のような映画とがん疾患啓発の協業（映画と NPO の協業）はなく、大変意義深い取り組みとして、この映画を通じ、一人でも多くの人に「キャンサーギフト」=（“がん” がくれた贈り物）という考え方が知られ、この寄付が大腸がん疾患啓発に繋がる事を祈念しています。

謹 白

【ニュースリリースに関する問い合わせ先】

- NPO 法人キャンサーネットジャパン 〒113-0034 東京都文京区湯島 1-6-8 中央自動車ビル 7F
電話：03-5840-6072 ファックス：03-5840-6073 E-mail：info@cancernet.jp
- 株式会社ファントム・フィルム 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 2-34-13 ベルファイブビル 4F
電話：03-5771-2045 ファックス：03-5771-2046 E-mail：info@phantom-film.com

■イントロダクション

「余命半年で出会った、永遠の恋」

ケイト・ハドソン×ガエル・ガルシア・ベルナル 2人が奏でる、一生で最後の恋。この冬、大切な人と見たい珠玉のラブロマンスをお届けします。自由気ままに生きる女性に突如訪れた病・・・その事実に向き合った主人公を演じるのは、はつらつとした美しさで「ラブコメの女王」と呼ばれるケイト・ハドソン。「脚本を読んだ後、20分間泣いた」と語るとおり、明るさの中に秘めた悲しみを見事に演じきり、女優としての新境地を見出した。マーリーと恋に落ちる主治医ジュリアンを演じるのは、ハリウッドの恋愛映画への出演はめずらしいガエル・ガルシア・ベルナル。感情の激しい役が多い中、本作では女性を不器用ながら、暖かく包む医師を純粋に演じる姿が初々しい。そしてファンタジックでいて重要な揭示を与えてくれる天使役をウーピー・ゴールドバーグ、マーリーの母親役をキャシー・ベイツが固め、物語をより感動的に彩っていく。人生のほんのわずかな時間・・・それでも愛することを後悔しないと誓う2人の姿に、たくさんの笑顔とたくさんの涙が溢れ出します。

■ストーリー

“さよなら”の代わりに、“大好き”を一。「あなたに見つめられたときだけ、生きていると感じた。」



マーリー（ケイト・ハドソン）、30歳、キャリアウーマン。広告代理店で働き、夜は仲間たちと楽しく過ごし、恋も思いのまま。ユーモアに溢れ、深刻な出来事だっていつも笑って吹き飛ばす。そんなある日、彼女に訪れたのは“がん”の宣告。今までの人生が、音を立てて崩れていく。いつもの笑顔で元気に振舞おうとするものの、友達は徐々に離れていき、両親はただオドオドするばかり…。マーリーは自暴自棄になり、主治医のジュリアンに怒りをぶつける日々。だが、それを静かに受け止めてくれる彼の存在が、いつしか彼女の心を溶かし始めていた。医者と患者という関係を理由に自分の気持ちを隠していたが、本当は本気になって向き合っ、傷つくのが怖かった。友人や両親、愛する人に心を開き、素直になる大切さを知っていくマーリー。しかしその喜びに気づいた時、彼女に残された時間はあとわずかだった。

■キャスト

ケイト・ハドソン

1979年4月19日 カリフォルニア州ロサンゼルス生まれ。母は女優ゴールドディ・フォーン、父は歌手のビル・ハドソン。1998年に「Ricoche River」で映画デビュー。同年公開の「200本のたばこ」で演技を絶賛される。2000年に「あの頃ペニー・レインと」でゴールデングローブ賞 助演女優賞を受賞。アカデミー助演女優賞にもノミネートされた。『10日間で男を上手にフル方法』や『トラブル・マリッジ』といったロマンティック・コメディ作品のヒットが多く、新ラブコメの女王と評されている。2008年にピープル誌の「最も美しい100人」に選ばれ、表紙を飾った。



【主な出演作品】

『200本のたばこ』（2009）・『あの頃ペニー・レインと』（2000）・『10日間で男を上手にフル方法』（2003）・『NINE』（2009）・『キラー・インサイド・ミー』（2010）

ガエル・ガルシア・ベルナル

1978年11月30日 メキシコ生まれ。メキシコで子役として活躍していたが19歳の時からイギリスの名門、セントラル・スクール・オブ・スピーチ・アンド・ドラマで演技を学ぶ。演劇学校在籍中の1999年にメキシコ映画『アモーレス・ペロス』で長編映画に初出演。一躍注目を集め同作品でアリエル賞男優賞を受賞する。2001年公開の『天国の口、終わりの楽園。』ではヴェネツィア国際映画祭マルチェロ・マストロヤンニ賞を受賞。2003年公開の『モーター・サイクル・ダイアリーズ』では若き日のチェ・ゲバラを演じた。



【主な出演作品】『アモーレス・ペロス』（1999）・『天国の口、終わりの楽園。』（2001）・『バッド・エデュケーション』（2004）・『モーターサイクル・ダイアリーズ』（2004）・『バベル』（2006）・『ジュリエットからの手紙』（2010）